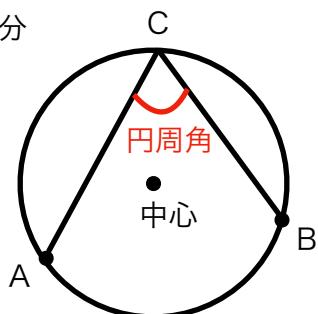


図形に強くなりたい人へ

【 図形の基本 】 P 円周角と中心角の定義と性質

(あ) 円周上的一点から、この点を含まない円周上の異なる二点へそれぞれ線分を引き、その二つの線分の間の角を 円周角 という

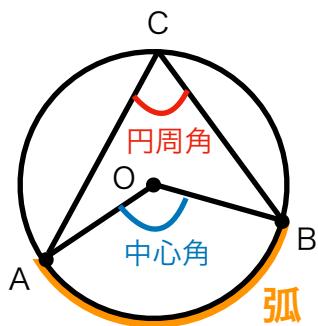
角ACBが
円周角



(う) 同じ弧に対する円周角と中心角の関係は
中心角 = 円周角 × 2

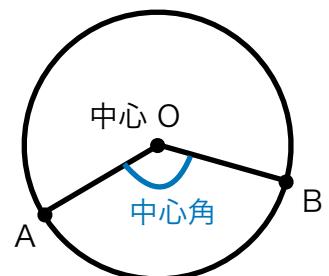
**角AOB =
角ACB × 2**

(例)
角ACB=60° なら
角AOB=120°



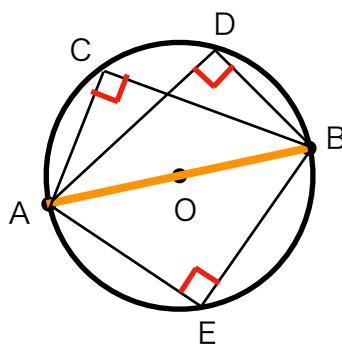
(い) 円周上の2点から、半径をそれぞれ引きその半径の間の角を 中心角 という

角AOBが
中心角



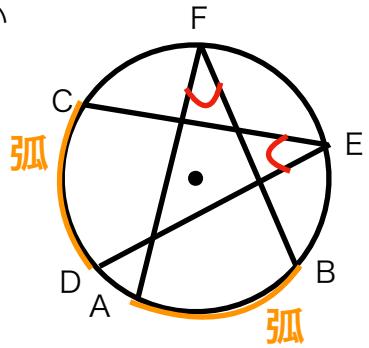
(お) 直径に対する円周角は、すべて90°

直径ABに対する
円周角
**角ACB
= 角ADB
= 角AEB
= 90°**



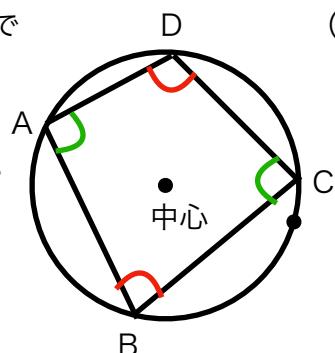
(か) 同一円周上の、同じ長さの弧に対する
円周角は、等しい

弧AB=弧CD
円周角
**角AFB
= 角CED**



(き) 円に内接する四角形で
対角の和は 180°

**角A+角C=180°
角B+角D=180°**



(く) 円に内接する正N角形で
半径で等分に分けた
一つの中心角は

$(360 \div N)$ 度
正六角形では
 $360 \div 6 = 60$ 度

